

生徒（保護者）のみなさんへ

～新型コロナウイルス感染対策についての本校の考え方について～

令和2年4月7日

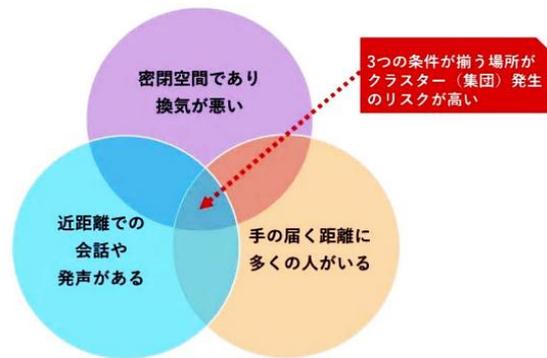
登別市立幌別中学校 校長 坂本 博

4月7日（火）から新入生 58 名を迎え、全校生徒 159 名となりました。また、4月1日付で本校に着任した 5 名の新たな教職員と共に学校を再開します。

みなさんには、これまで臨時休業となった分、勉強や部活動に励んでもらいたいと願っていましたが、いまだに新型コロナウイルスの感染拡大を防止する取組が必要な状況にあることや、みなさんの健康状態が悪くなっていないかなど心配なこともたくさんあります。

そこで、学校を再開するにあたり、今日から1か月程度は、右図にある3つの条件、「密閉（みっぺい）」「密集（みっしゅう）」「密接（みっせつ）」が重なる状況をつくらない工夫や取組を行います。

一日も早く、普通の学校生活に戻れるよう、みなさんの協力をお願いします。



<学校再開のための具体的な取組や工夫方法>

1 登校に関すること

- (1) 家庭での検温（記録）は毎日、継続してください。（登校後、確認いたします。）
また、校内での手洗いのため、ハンカチを必ず持参してください。
- (2) 本日、別に配布した資料『新型コロナ感染対策に係る「ジャージ登校」実施について』のとおり、ジャージ登校を実施します。
※制服が必要な日については、その都度連絡します。

2 授業に関すること

- (1) 校内ではせきエチケットを心がけ、マスクの着用をお願いします。
- (2) 授業中や授業の終わりには必ず窓を2か所ほど開け、空気を入れかえをします。
（寒い場合は、コートやジャンパーを着て授業を受けてもよいです。）
- (3) できるだけ、となりや前後の席との距離をとります。
- (4) 机を向かい合わせにしての給食やグループ活動は行いません。

- (5) 大きな声を大勢で出すようなコミュニケーション活動を長時間続けません。
- (6) 給食を配るときや食べるときは、いつもよりもお互いに声の大きさを抑えてください。
- (7) 「歌唱」「柔道」「調理実習」「実験」のような学習については、実施する時期に配慮するとともに、形態等を十分に工夫して行うこととします。
- (8) 急激な運動をさげ、まずは、登下校に慣れることや落ち着いた学習環境を整えることを最優先に考え、日程や行事を組み直します。
- (9) 3月末修の学習内容を補うために、無理に詰め込んだ授業や進度を早めたりすることはありません。

2 部活動

- (1) 学校生活に慣れるまで、活動内容の縮小や活動時間を短縮します。具体的には、活動を始めた時間から2時間以内とします。(準備や片付け含む)
- (2) スポンサー(担当の先生)がつかない場合は、安全管理のため活動は行いません。
- (3) 活動場所の換気を複数回行います。目安として30分～50分の活動後に10分間程度、窓を開け放しにします。
- (4) 大きな声を出してのかけ声や、互いに接近してのミーティング等の活動は行いません。
- (5) 活動前と終了後は手洗いを徹底してください。(専門家のお話では、石鹸は、ぬれていれば菌は死ぬので使いまわしても大丈夫とのことです。)
- (6) 水分補給のボトルなどを使用する際は、回し飲みをしないでください。
- (7) 部員は自主的に感染拡大防止に努め、スポンサー(担当の先生)とよく相談して、活動内容を工夫してください。
- (8) 部活動の活動時間等(休養日や活動時間の設定及び大会等の参加)については、「北海道の部活動の在り方に関する方針」に基づいてすすめます。

3 その他

- ・上記1、2に示した内容については、状況に応じて、修正・変更する場合があります。
- ・「新型コロナウイルスに関すること」や「学校再開に不安がある」、「いじめやいじりがある」など、心配なことがあれば、いつでも学級担任や教頭まで相談してください。